

みずほCustomer Desk Report 2018/12/17号(As of 2018/12/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.63
TKY 9:00AM	113.57	1.1364	129.06	GBP/USD	1.2652
SYD-NY High	113.67	1.1365	129.10	AUD/USD	0.7222
SYD-NY Low	113.21	1.1270	127.99		0.7151
NY 5:00 PM	113.39	1.1304	128.12		0.7175
NY DOW	24,100.51	▲ 496.87	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,910.67	▲ 159.67	日本10年債	0.0300	▲ 2.00bp
S&P	2,599.95	▲ 50.59	米国2年債	2.74	▲ 2.48
日経平均	21,374.83	▲ 441.36	米国5年債	2.73	▲ 2.22
TOPIX	1,592.16	▲ 24.49	米国10年債	2.89	▲ 1.82
シカゴ日経先物	21,265	▲ 450	独10年債	0.2530	▲ 2.90bp
ロンドンFT	6,845.17	▲ 32.33	英10年債	1.2420	▲ 4.80bp
DAX	10,865.77	▲ 58.93	豪10年債	2.4500	▲ 2.50bp
ハンセン指数	26,094.79	▲ 429.56	USDJPY 1M Vol	5.71	▲ 0.02%
上海総合	2,593.74	▲ 40.31	USDJPY 3M Vol	6.64	▲ 0.03%
NY金	1,241.40	▲ 6.00	USDJPY 6M Vol	7.19	0.04%
WTI	51.20	▲ 1.38	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	180.31	▲ 2.72	EURJPY 3M Vol	8.07	▲ 0.08%
ドルインデックス	97.44	0.38	EURJPY 6M Vol	8.68	0.11%

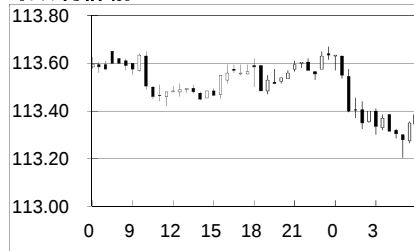
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月14日	11:00	中 小売売上高(前年比)	11月 8.1%	8.8%
	11:00	中 鉱工業生産(前年比)	11月 5.4%	5.9%
	17:30	独 マークイットPMI(コンポジット/製造業/サービス業)・速報	12月 52.2/51.5/52.5	52.4/51.7/53.5
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	11月 0.2%	0.1%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	11月 0.6%	0.3%
	23:45	米 マークイットPMI(コンポジット/製造業/サービス業)・速報	12月 53.6/53.9/53.4	-/55.0/54.6

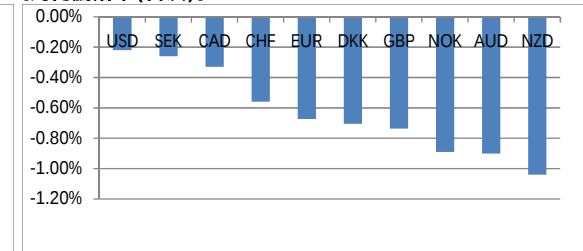
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月17日	19:00	欧 コアCPI・確報	11月 1.0%	1.0%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.2%/2.0%	0.2%/2.2%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	12月 20.0	23.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-113.80	1.1250-1.1380	127.60-128.80

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は下落。米11月小売売上高・鉱工業生産が市場予想を上回る結果となり一時113.67まで上昇したものの、中国や欧州の冴えない経済指標を受けて経済の減速懸念から世界的に株安が進行。米株も大きく下落したためドルの上値は重くドル円は下落に転じた。本日のドル円は、引き続き113円台で方向感のない展開を予想する。今週はFOMCを控えている。今回の利上げは織り込み済みである一方、来年の利上げ回数について見極めたい参加者が多く、FOMCを通過するまでは様子見姿勢が強まると思われる。

東京	東京時間のドル円は113.57レベルでオープン。前日比マイナス圏で寄り付いた日経平均株価が下げ幅を縮小する展開となるとドル円もじり高となり、一時113.65まで上昇。しかし、発表された中11月小売売上高、鉱工業生産が市場予想を下回る結果となったこと等から株価が軟調推移となるとドル円は下落する展開となり一時113.42まで下落。その後は目立った材料のない中、動意に乏しい推移が続き113.55レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は113.55レベルでオープン。113.47-62円の狭いレンジでの取引に終始し、中国が対米報復関税を1月から3か月停止するとの発表にも反応は薄く113.57レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1353レベルでオープン。朝方に発表されたフランスやドイツの12月PMIがいずれも予想を下回る中でユーロ売りが強まり1.1283に低下。その後も重い値動きが続き1.1289レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2621レベルでオープン。前日のEUサミットでメイ首相の再交渉要求は却下される中でも比較的落ち着いた立ち上がり。しかしユーロが下落するとポンドも連れ安となり1.2555まで下落し1.2569レベルでNYに渡った。(ロンドン・ブルワール00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は113.57レベルでNYオープン。朝方は米11月小売売上高の結果が予想を上回り前回も上方修正されたことから、ドル買いが強まり113.67まで上昇。その後発表された米11月鉱工業生産指数も予想を上回ったが前回分が下方修正され強弱混在の結果にドル円の反応は限定的。その後、ユーロドルが買い戻される展開に113.33まで反落。113.40まで戻す場面も見られたが、軟調なダウ平均が一段と売られ500ドル超下落する中、上値が重く、安値113.21まで切り下げる。終盤は週末を控え、ポジション整理の買い戻しが入り、113.39レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、ドイツ及びフランスの12月PMIが予想以上に低下したことから1.1300を下抜け、1.1283まで下落。その後、小幅に値を戻し1.1289レベルでNYオープン。朝方は米経済指標が好感されドル買いが進む中、11月28日以上の水準となる1.1270まで下落する。その後、週末を控えユーロドルが買い戻され1.1308までじりじり上昇。終盤は次第と小動きとなり、1.1304でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:玉井・森谷